

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第37週 （9月9日～9月15日）

★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
手足口病	➡	4.84	中央西で減少していますが、幡多で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	↘	4.57	安芸で急減、幡多、中央東、高知市で減少していますが、須崎で増加しています。
感染性胃腸炎	↗	2.76	須崎、安芸、中央西で急増、高知市で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	1.60	須崎で急減していますが、中央東で急増、幡多で増加しています。
RSウイルス感染症	➡	1.32	須崎、中央東で減少していますが、安芸で増加しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	➡	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

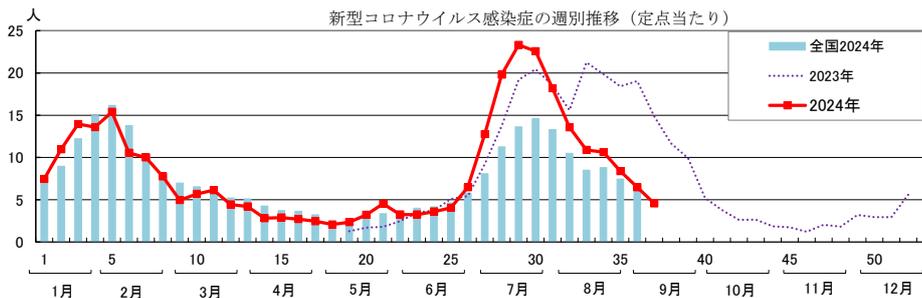
ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★気になる感染症

新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第33週 8/12～8/18	479	10.89
第34週 8/19～8/25	468	10.64
第35週 8/26～9/1	369	8.39
第36週 9/2～9/8	285	6.48
第37週 9/9～9/15	201	4.57



・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●予防方法・注意点

- *手洗い、十分な換気、密接、密集、密閉といったいわゆる「三密」を避けるなどの基本的な感染対策をお願いします。
- *医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い方々が集まる場所を訪れる場合は、当該施設の定めるルールに従い、必要に応じてマスクの着用をお願いします。
- *発熱等の症状のある方は出勤や登校を控えマスクを着用して、医療機関への受診（特に高齢者・基礎疾患を有する方）又は自己検査を推奨します。
- *軽微な症状での救急外来の受診や救急要請を控え、判断に迷う場合は「高知家の救急医療電話」（#7119）や「こうちこども救急ダイヤル」（#8000）への相談などにより、救急医療、救急搬送への負担軽減にご協力をお願いします。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

手足口病

手足口病は通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを発症することがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水症になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

手足口病の原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

今週は、コクサッキーウイルス A16 が 3 件、A10 が 1 件と複数のウイルスが検出されています。



【参考】厚生労働省ホームページ

手足口病 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

●予防方法

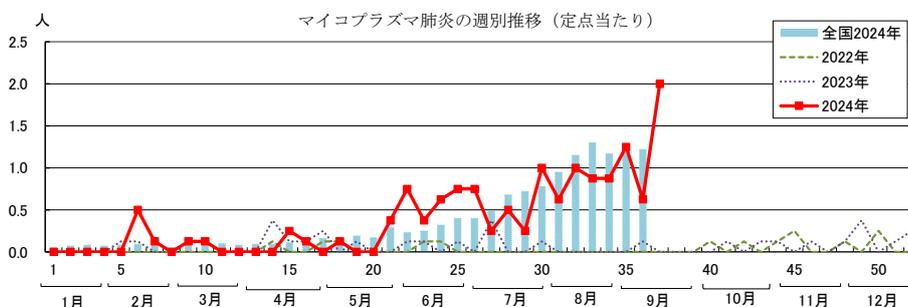
- *手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等は共用を避け、又感染者との密接な接触はさけましょう。
- *エンテロウイルスは回復後にも 2~4 週間の長期にわたり便からウイルスが排出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

手足口病：学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第 3 種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

マイコプラズマ肺炎

第 21 週から毎週報告されており、過去 2 年の同時期の約 2 倍、全国でも報告の多い疾患となっています。報告数の 75% は 14 歳以下となっており定点医療機関からのホット情報でも多くのコメントが報告されています。



●予防方法

- *普段から手洗いすることが大切です。
- *患者の咳から感染するため、咳エチケットを守りましょう。

●学校感染症

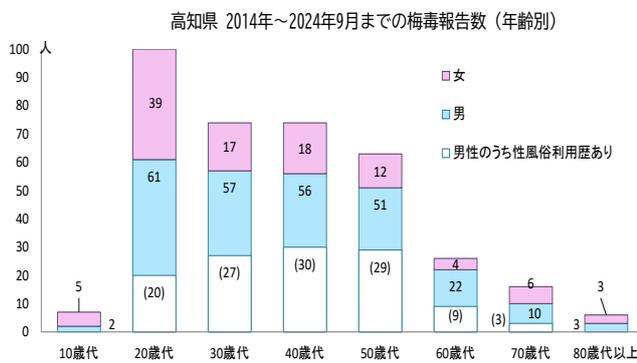
学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第 3 種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

梅毒

県内の梅毒報告者数は、2014 年の 4 例から 2023 年には 62 例と 15 倍以上に増加し、2024 年は 9 月 13 日現在で 32 例の報告となっています。

2014年から2024年9月13日現在の総報告数366例の内訳は、男性が72%（262例）女性が28%（104例）と

男性の割合が多く、性風俗利用歴のある男性（直近6か月以内）が118人と多くを占めています（性風俗従事歴・利用歴の不明の方もいます）。



高知県2014年～2024年9月までの梅毒報告数 (性風俗利用歴・従事歴のある者)

	利用歴あり		従事歴あり		従事歴・利用歴あり	
	男	女	男	女	男	女
20歳代	20		1	9	1	
30歳代	27	1	1	2		
40歳代	30	1	2	4		
50歳代	29			3		
60歳代	9					
70歳代	3			1		

早期発見は、個人においては早期治療に、社会においては感染拡大の防止につながります。梅毒に感染したのではないかと不安な方は、保健所でも無料で検査を受けることができますので利用してください。

<検査について>

- ・無料・匿名の血液検査です。
- ・結果通知のため、検査を受けた保健所に後日（約10日後以降）再度来所していただく必要があります。検査結果の診断書の発行はしていません。
- ・事前予約制です。検査を受ける場合は、検査を受ける保健所に電話予約してください。ただし、高知市保健所の昼間のみ、予約不要です。
- ・第1期の最初の数週間は抗体検査をしても陽性反応が出ないことがあるため、感染してから十分な期間（約3週間）をおいて、検査結果を確認する必要があります。
- ・梅毒に感染していたとわかった場合は、周囲で感染の可能性のある方（パートナー等）も検査を行い、必要に応じて、一緒に治療を行うことが重要です。

高知県庁ホームページ：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2021070500458.html#tirasi>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所	
5 類	カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	9	60歳代 女性	高知市	
	後天性免疫不全症候群	1	4	20歳代 男性	中央東	
	梅毒		1	33	40歳代 男性	高知市
			1		50歳代 男性	
			1		30歳代 男性	須 崎

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
37	手足口病	39℃,発疹	11か月	女	須崎	Rhinovirus Coxsackievirus A10
37	手足口病	38℃,発疹	1	女	須崎	Rhinovirus Coxsackievirus A16
37	手足口病	38℃,発疹	1	女	須崎	Rhinovirus Coxsackievirus A16
37	手足口病	発疹	9か月	女	須崎	Rhinovirus Coxsackievirus A16
37	手足口病	発疹	1	男	須崎	Cytomegalovirus
37	—	発疹	6	女	幡多	Human herpes virus 6
37	インフルエンザ	40℃,咳嗽,関節痛,頭痛 (+)	6	男	須崎	Influenza virus A H3 NT

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 2 例 マイコプラズマ肺炎 1 例 (11 歳男)
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (6 歳男、7 歳女) 水痘 1 例 (7 歳女) COVID-19 1 例 (4 歳男) 手足口病 2 例 (2 歳男、6 歳女)
	JA 高知病院小児科	マイコプラズマ気管支炎 5 例 (4 歳男、6 歳女、9 歳男、11 歳女 2 人) hMPV 気管支炎 1 例 (10 か月男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ感染症 7 例 (3 歳、4 歳 3 人、9 歳、13 歳、15 歳) RS ウイルス感染症 4 例 COVID-19 6 例 インフルエンザ A 型 2 例 (同胞) カンピロバクター腸炎 1 例 (6 歳)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ気管支炎 3 例 (1 歳女、5 歳女、10 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 6 例 手足口病 7 例 ヘルパンギーナ 8 例 COVID-19 1 例 インフルエンザ 0 例
	細木病院小児科	マイコプラズマ 2 例 (1 歳男、5 歳女) hMPV 2 例 (1 歳男、4 歳男) RS ウイルス感染症 2 例 溶連菌感染症 4 例 手足口病 4 例 インフルエンザ A 型 1 例 COVID-19 4 例

保健所	医療機関	情報
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1 例 (2 歳男: 土佐市) 帯状疱疹 1 例 (8 歳女) hMPV 気管支炎 1 例 (2 歳女) マイコプラズマ感染症 2 例 (10 歳女: 須崎市、11 歳男) インフルエンザ A 型 1 例 (9 歳女: 県外から帰省)
	日高クリニック	hMPV 1 例 (1 歳男)
須崎	もりはた小児科	手足口病 10 例と減少傾向 感染性胃腸炎 23 例 (A 保育所で流行) RS ウイルス感染症 2 例 hMPV 1 例 マイコプラズマ 1 例 (7 歳) COVID-19 5 例 インフルエンザ A 型 2 例 36wサルモネラ腸炎 1 例
幡多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎 3 例 (4 歳女、6 歳女、9 歳女)
	さたけ小児科	マイコプラズマ 1 例 (10 歳女) COVID-19 3 例 (1~16 歳)

★注目すべき感染症

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) を原因菌とする肺炎で、流行時には市中肺炎全体の20~30%を占めることもある。感染経路は主に飛沫感染と接触感染で、患者は1~14歳に多く、家族内や学校などでしばしば集団発生が起こる。潜伏期間は感染後2~3週間程度である。症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがある。肺炎の場合でも比較的軽微な症状は多く、肺炎に至らない気管支炎症例も多い。一方、重症化して入院治療が必要な症例もある。また、患者の5~10%未満で中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を発生することも報告されている。治療はマクロライド系抗菌薬が第一選択薬となるが、耐性を持つ株も検出されており抗菌薬の適切な使用が求められる。なお、現時点で有効なワクチンはない。

感染症法に基づく感染症発生動向調査においてマイコプラズマ肺炎は5類感染症、定点把握対象疾患に位置付けられており、全国約500カ所の基幹定点医療機関（小児科および内科医療を提供する300床以上の病院）から毎週患者数（入院・外来の総数）が報告されている。届出基準では「菌の分離・同定」、「抗体検出」、「核酸増幅法による病原体の遺伝子検出」、「イムノクロマト法による病原体の抗原の検出」のいずれかの検査法によってマイコプラズマ肺炎と診断された時に、届出を求めている。

定点当たり報告数は、2010~2019年の10年間でみると、第20週付近から増加し始め、第42週~翌年第2週の間ピークを迎える一峰性の増減がみられたが、2020~2022年の報告数は年間を通じて少なくピークも見られなかった。2024年は2019年以前とほぼ同様に、第20週付近から定点当たり報告数が増加し始めた。2024年第27~33週は継続して前週より増加し、第31~35週は、2014年以降最も多い水準で推移していた。

マイコプラズマ肺炎：第31~35週における定点当たり報告数（2014~2024年）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
第31週	0.24	0.35	0.93	0.25	0.24	0.17	0.08	0.03	0.01	0.04	0.95
第32週	0.24	0.40	0.93	0.24	0.23	0.17	0.10	0.03	0.02	0.02	1.14
第33週	0.25	0.50	0.88	0.29	0.27	0.19	0.05	0.04	0.01	0.03	1.30
第34週	0.22	0.50	0.86	0.26	0.21	0.23	0.06	0.03	0.03	0.03	1.17
第35週	0.24	0.47	0.88	0.32	0.23	0.24	0.06	0.04	0.01	0.03	1.18

各集計時速報値（参照）IDWR速報データ：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/data.html>

2024年第1～35週の定点当たり累積報告数は12.36（累積報告数5,934）であり、2014年以降の10年間の当該週において、2016年の21.89（累積報告数10,376）に次いで多かった。

地域別では、2024年第35週は46都道府県から報告があり、定点当たり報告数上位5位は愛知県（2.67）、大阪府（2.67）、兵庫県（2.50）、岐阜県（2.20）、東京都（2.08）であった。2024年第30～34週（直近5週間）の定点当たり報告数、上位5位の都道府県は大阪府、愛知県、兵庫県、岐阜県等、西日本に多かった。

2024年第1～35週までの累積報告数において、性別では男性が53.9%とやや多く、女性の報告数が多かった2019～2023年とは異なる傾向であった。年齢群別の報告数では5～9歳が43.5%（2,581例）と最も多く、次に10～19歳が30.9%（1,835例）であった。なお、2019～2024年の各年における第1～35週の累積報告数および報告例の年齢分布を表に示す。2024年の第35週までの累積報告数における年齢分布は、2019～2023年と比較すると、累積報告数の増加に伴い0～19歳において報告数が増加した。一方で、60歳以上においては、報告数の大幅な増加は見られなかった。また、報告数の割合においては、5～9歳、10～19歳が多くなり、60歳以上が特に少なくなった。

マイコプラズマ肺炎：第1～35週における累積報告数および報告例の年齢分布（2019～2024年）

	0～4歳	5～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
2024年 (n=5,934)	17.8% (1,055)	43.5% (2,581)	30.9% (1,835)	2.1% (122)	2.0% (121)	1.3% (78)	0.6% (38)	1.8% (104)
2023年 (n=560)	33.8% (189)	16.1% (90)	13.9% (78)	6.3% (35)	6.1% (34)	4.3% (24)	2.7% (15)	17.0% (95)
2022年 (n=223)	17.5% (39)	10.8% (24)	13.5% (30)	9.4% (21)	6.3% (14)	4.5% (10)	8.1% (18)	30.0% (67)
2021年 (n=543)	24.1% (131)	7.0% (38)	13.6% (74)	11.0% (60)	8.7% (47)	5.0% (27)	3.9% (21)	26.7% (145)
2020年 (n=3,044)	17.6% (537)	26.3% (800)	20.6% (626)	8.0% (242)	6.5% (199)	5.2% (158)	2.3% (71)	13.5% (411)
2019年 (n=2,774)	23.4% (649)	26.2% (728)	20.8% (577)	5.0% (140)	5.1% (141)	4.5% (125)	2.3% (63)	12.7% (351)

累積報告数は、各年第35週の集計時速報値（参照）IDWR速報データ：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/data.html>

国内外の疫学調査研究では、マイコプラズマ肺炎は3～7年程度の間隔で大きな流行が起きることが報告されている。2024年第1～35週の定点当たり累積報告数は周期的な大流行の年となった2016年に次いで多かった。また、2024年は新型コロナウイルス感染症流行前の2019年以前とほぼ同様に、第20週付近から定点当たり報告数が増加し始め、第27～33週は継続して前週より増加し、第31～35週は、2014年以降最も多い水準で推移していた。2020～2023年の報告数は年間通じて少なかったが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、人々に求められていたマスク着用、手洗いの励行等、基本的な感染症対策が緩和された。そのため、マイコプラズマ肺炎の流行が今後、さらに拡大することが危惧される。より一層の注意深い監視が必要である。

（国立感染症研究所IDWR2024年第35号より）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696
※この情報に記載のデータは2024年9月17日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第37週 令和6年9月9日(月)～令和6年9月15日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)		全国(36週末累計)
											R6/1/1～R6/9/15	R6/1/1～R6/9/8	
インフルエンザ (COVID-19(40))	インフルエンザ		1	7	3	7		18 (0.41)	17 (0.39)	2,220 (0.45)	9,630 (218.86)	1,162,598 (236.06)	
	新型コロナウイルス感染症	9	41	56	24	25	46	201 (4.57)	285 (6.48)	32,443 (6.57)	13,631 (309.80)	1,341,348 (272.35)	
小児科 (25)	咽頭結膜熱	2		1			1	4 (0.16)	4 (0.16)	915 (0.29)	403 (15.50)	84,746 (27.09)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	14	8		15	40 (1.60)	27 (1.08)	5,914 (1.89)	2,939 (113.04)	389,863 (124.64)	
	感染性胃腸炎	2	4	24	1	23	15	69 (2.76)	36 (1.44)	8,989 (2.87)	2,683 (103.19)	491,652 (157.18)	
	水痘		1			1		2 (0.08)	9 (0.36)	445 (0.14)	115 (4.42)	17,959 (5.74)	
	手足口病	2	26	64	1	12	16	121 (4.84)	107 (4.28)	22,485 (7.17)	2,302 (88.54)	383,105 (122.48)	
	伝染性紅斑							()	()	554 (0.18)	14 (0.54)	6,710 (2.15)	
	突発性発疹		1	2		1		4 (0.16)	6 (0.24)	979 (0.31)	220 (8.46)	28,800 (9.21)	
	ヘルパンギーナ		1	11			3	15 (0.60)	10 (0.40)	2,537 (0.81)	611 (23.50)	63,617 (20.34)	
	流行性耳下腺炎						1	1 (0.04)	()	136 (0.04)	20 (0.77)	4,685 (1.50)	
	RSウイルス感染症	8	5	13		2	5	33 (1.32)	35 (1.40)	2,167 (0.69)	1,321 (50.81)	106,331 (33.99)	
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	12 (0.02)	()	488 (0.70)	
	流行性角結膜炎							()	()	310 (0.44)	12 (4.00)	14,085 (20.32)	
内科(8)	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	10 (1.25)	341 (0.71)	
	無菌性髄膜炎							()	()	30 (0.06)	2 (0.25)	451 (0.94)	
	マイコプラズマ肺炎		1	10			5	16 (2.00)	5 (0.63)	585 (1.22)	115 (14.38)	6,520 (13.58)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	1 ()	1 (0.13)	32 (0.07)	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	2 ()	12 (1.50)	260 (0.54)	
計 (小児科定点当たり人数)	23 (9.25)	84 (11.04)	202 (18.83)	37 (11.75)	71 (27.50)	107 (19.75)	524 (16.54)			80,732	34,041 (937.43)	4,103,591	
前週 (小児科定点当たり人数)	33 (11.00)	113 (14.10)	210 (19.10)	37 (10.75)	40 (15.00)	108 (19.01)		541 (16.23)					

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第37週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)	全国(36週末累計)
											R6/1/1～R6/9/15	R6/1/1～R6/9/8
インフルエンザ (COVID-19(40))	インフルエンザ		0.10	0.50	0.75	1.75		0.41	0.39	0.45	218.86	236.06
	新型コロナウイルス感染症	2.25	4.10	4.00	6.00	6.25	5.75	4.57	6.48	6.57	309.80	272.35
小児科 (25)	咽頭結膜熱	1.00		0.11			0.25	0.16	0.16	0.29	15.50	27.09
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.50	1.56	4.00		3.75	1.60	1.08	1.89	113.04	124.64
	感染性胃腸炎	1.00	0.67	2.67	0.50	11.50	3.75	2.76	1.44	2.87	103.19	157.18
	水痘		0.17			0.50		0.08	0.36	0.14	4.42	5.74
	手足口病	1.00	4.33	7.11	0.50	6.00	4.00	4.84	4.28	7.17	88.54	122.48
	伝染性紅斑									0.18	0.54	2.15
	突発性発疹		0.17	0.22		0.50		0.16	0.24	0.31	8.46	9.21
	ヘルパンギーナ		0.17	1.22			0.75	0.60	0.40	0.81	23.50	20.34
	流行性耳下腺炎						0.25	0.04		0.04	0.77	1.50
	RSウイルス感染症	4.00	0.83	1.44		1.00	1.25	1.32	1.40	0.69	50.81	33.99
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.02		0.70
	流行性角結膜炎									0.44	4.00	20.32
内科(8)	細菌性髄膜炎									0.02	1.25	0.71
	無菌性髄膜炎									0.06	0.25	0.94
	マイコプラズマ肺炎		1.00	2.00			5.00	2.00	0.63	1.22	14.38	13.58
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.13	0.07
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										1.50	0.54
計 (小児科定点当たり人数)	9.25	11.04	18.83	11.75	27.50	19.75	16.54			937.43		
前週 (小児科定点当たり人数)	11.00	14.10	19.10	10.75	15.00	19.01		16.23				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第37週)

